

2023年6月5日

クラウド型電子契約サービス 「SMBCクラウドサイン」の導入について ～銀行内における契約手続きを電子化～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2023年6月5日（月）、クラウド型電子契約サービス「SMBCクラウドサイン」を導入いたしましたので、お知らせします。

当行では、2022年より「むさしの電子契約サービス」の取扱いを開始するなど、各種業務におけるデジタル技術活用を進め、お客さま利便性や生産性・効率性の向上に向け取り組んでおります。

今般の「SMBCクラウドサイン」導入はこうした取組みに連なるもので、グループ会社や業務委託先との契約など銀行内の手続きを電子化いたします。

これにより、契約書の郵送や押印・署名が不要となるほか、ペーパーレス化により締結後の管理業務も軽減されます。

当行は今後も、デジタル技術を積極的に活用し、お客さまサービスの充実や業務改革を通じた生産性向上に努めてまいります。

《概要》

サービス名	SMBCクラウドサイン
サービス提供者	SMBCクラウドサイン株式会社（代表取締役 三嶋 英城） （同社は株式会社三井住友フィナンシャルグループの子会社です。）
概要	本部各部門におけるグループ会社および業務委託先等との各種契約手続き（契約締結や締結後管理）をインターネット上で完結するサービスで、従来の押印や署名が不要となります。
対象となる契約	グループ会社とのリース契約、業務委託先との秘密保持契約、覚書、業務委託契約、請負契約 など

以上

報道機関からのお問い合わせ先
デジタル推進部 業務改革グループ 齊藤 慎吾
TEL：048-641-6111（代）